



掘立柱建物跡を完掘した状況。黄色い線が建物の範囲を示します。柱穴は直径0.2mほど、一部は柱を据えた痕跡が残っています。



柱穴からは黒色土器と呼ばれる、炭素を吸着させた器が出土しました。形・作り方から、約900年前のものと考えられ、建物の時期の決め手となりました。

県道多度津丸亀線の工事に伴い、多度津町道福寺で中又北遺跡の調査を行っています。この遺跡では弥生時代・平安時代の遺構・遺物が見つかっています。今回は平安時代の建物跡について紹介します。

建物跡は平安時代末(約900年前)の掘立柱建物です。掘立柱建物とは、穴を掘って据えた柱を用いて建てられる建物です。建物の床面積は約70㎡で、県内の同時期の建物と比べても規模の大きいものです。

弥生時代には川が流れる低地であり、その後集落が営まれた痕跡が見られます。

れないこの遺跡で、なぜ平安時代に建物が出現したのでしょうか。平安時代の終わり頃、多度津では多度庄・葛原庄などの荘園がいくつか設置されました。文献資料や残された地名等から、中又北遺跡は多度庄の東限に近い所に立地したと考えられます。

荘園にされ、有力者に寄進されるような土地は、開発が進み、実りの多い田もあつたのでしよう。中又北遺跡の建物は、荘園ができる頃、開発が進められていたこの地の様子の一端を表していると考えられます。

同じ時期の遺構は他には見つかりませんが、今後の発掘調査、周辺の遺跡、地名、文献等を用いて、この時期の多度津の状況について迫ってきたいと思えます。



現地説明会風景 西から

当センターが10月から発掘調査を開始した讃岐国府跡で2月13・14日に現地説明会が行われました。13日は始まると同時に小雨が降り出しましたが、14日は小春日和の良いお天気で、両日で200名の方々に参加いただきました。

今回の調査では奈良時代から平安時代の大型建物跡3棟のほか、飛鳥時代から平安時代の建物跡7棟、平安時代の柵列1条、奈良時代から平安時代の溝状遺構6条などの遺構が見つかりました。また、須恵器・土師器・緑釉陶器・灰釉陶器、軒平瓦・軒丸瓦などの遺物もたくさん出土しました。この中で最も注目されるのが大型建物跡です。

この大型建物跡は掘立柱建物で地面に掘りくぼめた穴にそのまま柱を立てて建てられた建物です。今までの調査では建物跡の一部は見つかった

ていましたが、1棟の建物跡全体が見つかったのは初めてです。これらの建物跡は重複して見つかったっており、奈良時代の終わり頃から平安時代の後半の200年間、建て替えられながらほぼ同じ場所に大型掘立柱建物が存在していたことがわかりました。

これらの建物の最大の特徴は、いずれも廂(むすし)があることです。古代の廂は建物の主体部分である身舎(みや)の外側に低い柱を立てて屋根を葺きおろしたり、軒下に別の屋根を架けたりして、外側に奥行きを広げて建物の内部の空間を広くするためのものです。また、屋根が大きくするため、建物を格式高く見せることができます。このような古代の大規模な廂付の建物は香川県では讃岐国分寺など数例知られているだけです。

今回の調査で見つかったこれらの建物はかなりの格式をもち、長期間



大型掘立柱建物跡 南から

さぬきこくふあと  
讃岐国府跡発掘調査  
現地説明会が行われました



2016年3月  
発行：  
香川県埋蔵文化財センター  
〒762-0024  
香川県坂出市府中町字南谷 5001-4  
tel: 0877-48-2191 / fax: 0877-48-3249  
HP: <http://www.pref.kagawa.lg.jp/maibun/>  
E-mail: [maibun@pref.kagawa.lg.jp](mailto:maibun@pref.kagawa.lg.jp)



同じ場所で建て替えられていることから、重要な施設と考えられませんが、具体的な性格については今後に残された課題です。

文化ボランティア



夏休み子どもミュージアム古墳見学で、高松市にある石清尾山古墳群を訪ねました。横穴式石室内を観察しやすくように懐中電灯で照らしています。



夏休み子どもミュージアムの体験講座で作った土器を焼成しています。土器はきれいに焼き上がり、参加者は大喜びでした。

讃岐国府跡探索事業ボランティア調査員  
&文化ボランティアの活動

埋蔵文化財センターには文化ボランティアと讃岐国府跡探索事業ボランティア調査員(通称ミステリーハンター)という2種類のボランティアグループがあり、31名が登録しています。

文化ボランティアは遺跡の現地説明会や体験講座の補助といった活動を担っています。ミステリーハンターは讃岐国府跡の調査のほかに、国府周辺地域を巡る「まち歩き」の案内や、展示解説などの調査成果の広報活動を行っています。これらのボランティアの活動を写真でご紹介します。



讃岐国府跡発掘調査現地説明会で資料を配布しています。

讃岐国府跡探索事業ボランティア



市民グループからまち歩きのガイドを依頼されました。坂出市府中町にある鼓岡神社の石碑について説明しています。



大阪府と奈良県にまたがる古代山城の高安城で現地研修を行いました。